



はぐくむ

No.1 (平成13年)

社会福祉法人 鶴風会
東京小児療育病院
みどり愛育園

東京都武蔵村山市学園4-10-1

電話(042)561-2521(代表) 〒208-0011

EJ-4 kakufuh @din.or.jp

後援会

東京都中野区本町2-15-13

電話(03)3372-7650 〒164-0012

- 1頁 理事長・施設長ご挨拶
 - 2頁 新年に向けて
 - 5頁 病棟紹介
 - 6頁 新人紹介
 - 8頁 行事
 - 9頁 後援会だより
- 後援会会長のご挨拶
常務理事・評議員のお知らせ



倉島攝子理事長

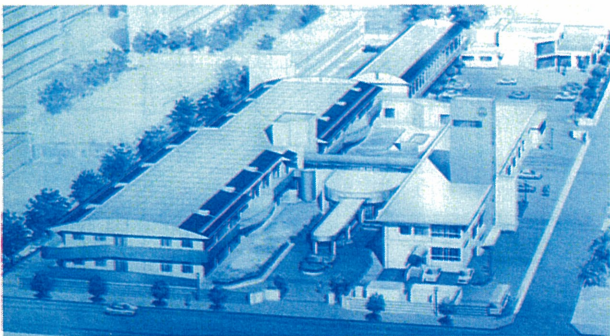
!! 新らしい年の想い!!

社会福祉法人 鶴風会

理事長 倉島 攝子

社会福祉法人鶴風会後援会の皆様
御きげんよくおすごしでいられますよう
か。二〇〇一年の元旦は輝くばかりの
明るい前途を願っての迎春でございます
た。さりながら暗いニュースに心が痛む
事ばかり多い、やりきれない切ない気持
で一杯でございます。何とか早く愛す
る日本が立直ってほしいと思います。

私共の施設はお蔭様で着実に療育の実績
をあげており、また地域サービスとして
の訪問看護、介助、リハビリテーション、
すべてが信頼と高い評価をいただいております。



ります。この度後援会ニュースが施設の
院内誌「鶴風」と一つになり多くの方
に私共の施設を御案内してゆきたいと
思っております。予期せぬ困難な事がお
きたり、これからも障害児を取りまく環
境は決して平安ではないでしょう。
誠意をつくしてその時々に応じて対処し
てまいります。新世紀は施設にとりまし
て更なる前進を遂げるために明るい未来
でありますように願っております。



新年度に向けて

東京小児療育病院

みどり愛育園

施設長 鈴木康之

期待と希望の中に二十一世紀が始まり、
すでに数ヶ月の歳月が過ぎてゆきます。
寒い冬もいつかは温かな春を迎える季節
の移ろいに、自然の恵みを感じます。皆
様方にはお変わりなくお過ごしのことと
存じます。

昨年度は、厚生省が進める医療福祉の
基礎構造改革という大きな変化に伴い、
障害児者療育にとって大きな困難に対面
した時期でした。重い障害のことも達も
そうでない障害のことも達も同じ処遇に
するという、考えられない提案に、重い
障害児者の生存が危惧された時でした。
従来の肢体不自由児施設・重症心身障害

児施設が、その基盤を失いかねない厚生
省の提示に、障害医療の大切さを訴え続
けた年でした。

さいわい、関係者各位のご努力により、
保険診療に「障害者等施設入院」という
制度が新設になりました。その目指すこ
ころは、地域障害児者の方々の医療・福
祉の拠点として、入所機能にとらわれず
に、幅広く医療を展開することである、
と基本方針が提示されました。

今まで私も東京小児療育病院が行っ
てきた地域療育活動のそのままで。心
配が、新たな制度への発展につながった
世紀の終末になりました。この新しい時
代を拓くことができたのは、東京小児療
育病院・みどり愛育園の実践に他なりま
せん。職員はじめ、それを支えてくだ
さったご父兄や関係各位に心から感謝申
し上げます。これからも誠心誠意、障害
に悩み苦しむ方々に役に立てることだけ
を考えて取り組んでゆきたいと思ひます。

私どもの施設が目指してきたものは、
障害児者の方々の生命を守り、豊かな生
活を送れるように援助するという課題で
あり、そのご家族が抱える苦しみと悩み
を共有することから始まっている業務で
あると思ひます。何よりも障害児者の
方々を尊重し、その要望(ニーズ)を基
本とするということです。職員の立場で
はなく、利用者の立場を第一にする職員
集団であり続けたいと願ひます。

今年度も関係する皆様方のご指導とご
援助を心からお願い申し上げます。

『冬来たりなば』

春遠からじ

訓練科

今年は雪の多い冬でしたが、二月に入る頃から、訓練科でも新年度からのことが話題に上り始めました。訓練科への新入職員の配置などはもちろんですが（机が入りきらない！）、利用者の方達の新年度からの進路が問題です。

四月から小学校へ入学する子供達は午前中の訓練から午後へ、高学年に進級する子供達は遅い時間帯へ、高等部を卒業する子供達は進路先によって曜日の変更、時間の変更と、訓練スケジュールの調整が必要になります。この複雑なバズルを解ければ、訓練科職員として一人前といわれているとかないでしょうか。

しかし、子供達、親御さん達にとって、もっと大問題です。保育園に入るのか、通園施設に行くのか、普通学校か養護学校か、就職か作業所かデイサービスか等々、子供にとって最善の場はどこなのか、迷いは尽きません。

Aさんは、高校三年生になります。歩行障害がありますが、進学に関して相談を受けたことは不思議なほどありません。普通小学校、中学校、高校と進んで、教師や友人との関係も良好です。今は高校卒業後の進路で悩んでいます。そこに障害の有無はあまり関係ないようです。

B君は小学校二年生です。軽度の歩行

障害がありますが、日常生活には支障ありません。でも、入学した小学校ではイジメに会い、転校しました。今の学校でも教師の理解が得られずに、三年生からは養護学校へ通うかもしれません。

C君は今年、高校を卒業します。成績優秀な彼は、教師から大学進学を勧められていました。しかし、車椅子の彼を介護してきた母親の負担を考えて、在宅での仕事の準備をしています。

D君は中学校に進学します。地元の普通校は受け入れてくれることになりましたが、援助は無しという条件付きです。母親の付き添いが必要になりそうです。健常児と同じスピードで行動できない彼に、同級生達はつれなくなってきたようです。しかし、彼は友達と一緒に勉強したいという意志を曲げませんでした。障害があろうと無かろうと、進路の悩みはあります。でも、障害のために選択の幅が限られることのない社会になってほしいものです。地域療育支援事業などを通して、少しでもその手伝いができればと思います。期待と不安で四月を迎える子供達が、新しい場所での出来事を、明るく報告してくれることを願わずにはいられません。



個別プログラム

ハウンドドックコンサート

東二病棟

去る一月二十日、ひまわり病棟のHさんは待望のハウンドドックコンサートへ出かけて来ました。

夕食を急いで済ませ、外出用のスカートに着替えました。職員の「カットワイヤー」の声かけに顔をほころばせ、普段あまり開けない目もパチッと開けて大サービスしています。さて、皆に送られ車椅子タクシーに乗り込み、会場へ出発です。

Hさんは年に一回程度コンサートへ行っています。タクシーに乗ると、これからお楽しみがありそうと予感するようで、ニヤニヤしたり、ケラケラと笑い出したり、手足の動きが大きくなり、期待で体がムズムズしてくるようです。いよいよコンサート開始です。Hさんはもうじつとしていられません。手足はもちろん、首もちぎればかりに頭を振り、顔は笑っぱなし、声も出始め興奮のつばに突入です。

あっという間に二時間のコンサートが終わり、タクシーに乗っての帰路の間もHさんはまだ盛り上がっていました。次の日、夜勤者からの報告では、Hさんは一晩中笑いながらロックンロールしていたようです。

「祝！ 新成人」

東二病棟

一月七日に、成人式と成人を祝う会が行なわれました。この内成人式は、ひまわり病棟六名、お隣のすみれ病棟二名と合同でした。式典は、園長、婦長の祝辞から始まり、花束贈呈、父母代表の言葉と続き、閉会しました。

その後は各病棟での祝う会でした。私達ひまわり病棟で新成人になられた方は男性三名女性三名。それぞれ髪を整えお化粧をし、スーツや着物で正装した姿で、クラッカーの音と共にディルムに集まった私達の前に登場です。少々緊張した表情の人、とても嬉しそうに絶えずニコニコ笑顔の人など普段とはまた違う新鮮な皆さんに出会うことが出来ました。保護者の方とケーキカットをし、病棟からはお祝いのプレゼントとしてカメラが送られました。乾杯でワインなどが振る舞われ、ケーキを食べながら記念撮影をしたりと、楽しい時間を過ごしました。

新成人の方々も祝う側の利用者の方々も、普段あまり口にしらないお酒で良い気分になり、頬を赤らめて笑顔の人、眠ってしまった人も見られました。

ひまわり病棟では約3-4の方が成人を迎えられています。大人ならではの楽しめる体験も増やし、素敵な日々を共に送っていききたいと思っています。

成人らしさを考えた行事

〓クリスマス会〓

通園青年部

通園では、季節感を味わうため、そして利用者・保護者・職員が親睦を深めていくためにほぼ一ヶ月に一度、大小様々な行事が行なわれています。春には通所施設合同交流会が行なわれ、他施設に通う仲間達との交流の場となっています。夏には、合宿が行なわれ、家族の方の休息と利用者自身の自立心を促し、そして仲間同志の親睦を図っています。秋には、一泊旅行や幼少部合同の大運動会、冬には、クリスマス会や新年会など、それぞれ内容に工夫されたものが行なわれています。

その中でも、平成十二年度から趣向を凝らした行事が「クリスマス会」です。昨年度まではクリスマス発表会として青年・幼少部で行なわれてきましたが、時間的・空間的理由から別々に行うようにし、青年部は大人の雰囲気を楽しむことを目的とし「クリスマスパーティー」会場をホテルに移し行なうことを計画しました。パーティー会場は昭島市にある「フォレストイン昭和館」、今回は院内作業を行なっているデイケアの皆さんを招待し交流を図る機会となりました。総勢八十名を超える参加者は皆、普段とは違う装いで参加、いつも見なれてる皆さんのですが、いつも以上に生き生きと輝やいていました。職員だって

着なれないスーツなんか着たりして…。

紳士、淑女達は会食を楽しみにしていたようです。おいしいコースメニューをペロリと食し、満足気な様子でした。職員からクリスマスソングを数曲プレゼントさせてもらいました。(結構、練習したんですよ。)そして皆で持ち寄った品物でプレゼント交換をし、楽しいひとときは「あっ」という間に幕を閉じました。初めての経験の方も多かったと思います。たまには贅沢してもいいかな、と言っていた方もいました。

今回のクリスマスパーティーは大好評だったようです。毎年、行なわれてきたクリスマス行事も視点を変えたことでより充実した内容になったようです。どの行事も常に内容を検討しながら行なっていますが、参加者が共に楽しみ共感できる場となればと思います。

平成十三年度も数々の行事が予定されています。成人らしさ、そして通園らしさを強調していければと考えています。新たに「ナイトケア」という少人数での一泊行事を在宅支援の一環として行なっていくと、現在実施に向けて検討中です。皆さん、楽しみにして下さい下さい。

行事を通しての一年間

通園幼少部

通園幼少部の一年は、行事に始まり行事に終わります。

年度始めに、年齢別の二つのクラスが編成されると、入園式で初顔合わせ。親も職員も緊張する一日でした。春の「子供の日まつり」「ピクニック」、夏の「七夕」「夏まつり」と行事を重ねていくうちに通園にも慣れ、他



のクラスのお母様同志も、話しかけたりかけられたりといった姿も見られるようになりまし

た。運動会では、青年部合同で行われ、絶対に「負けられない」といった熱気が、ひしひしと伝わってきました。青年部との交流は年間二回しかし名まえが分からなくても病棟や外来で会えば青年部のお母様が声をかけてくださり、いつの間にか通園の輪が広がっているようです。クリスマス発表会では、クラス別に劇の発表をしました。我が子の成長ぶりをカメラにおさめようと、ズラリと並んだご家族の方々に、少々緊張しているお子さんも見られました。この頃には、クラスとしてまとまりがとて感じられるようになり

ました。自分の子どもだけでなく、他の子どもの成長も、我が事のように喜んでいらっしやるお母様の姿を見ると、私達も嬉しくなります。年が変わり、もちつきや「節分」では、お子さんの手を取り、おもちをこねたり、鬼を作ったり、幼少全体が和気あいあいとした行事になりました。

さて、今年も三月の卒園式・修了式にむけての制作が行われています。お母様方もいろいろな想いをこめて、お子さんと一緒に制作にあたっています。

通園の行事は、お子さんにとって節目のある楽しいものであり、お母様にとっても一年を通して通園という強い絆で結ばれているように思います。入園前、家と病院との往復という日々を送ってこられた方も、通園でいろいろな人と出会い、刺激し合いながら、お互いに助け合い、お子さんの成長と共に皆様方ご自身が、強く強くなっていられることがよく分かります。外出の経験がほとんどなかったけれど、通園の外出行事を機に自信がついたとおっしゃる方もいます。家族の行動範囲が広がり、生活に潤いがでてきたのではないのでしょうか。

通園幼少部は、常に親と子が共に成長していく場として、今後も日々の保育の中に楽しい行事を計画していきたいと思えます。ご家族にとって、お子さんの成長に伴い、悩み多いことと思えますが、少しでも心の安らぎを得られるような通園でありたいと職員一同の願いです。

新年度に向けて

西一病棟

西一病棟（コスモス）では、四月一日より新体制が始まりそれに伴って業務の見直しなどが急務となってきました。医療保険制度に伴う職員比率の変更、利用者の日課の現況を保つ為にどうしていくか、またそのために職員一人一人が何をすべきかも一度考える転換期となっています。

職員比率の変更については、これまでの育務・療育が統合され療育部となり総数が減り、看護婦が増えています。このことは年々進む重症化の現われと言って良いと考えられます。日勤帯の看護の充実が今回の体制の変更によって成されていくと思われれます。当初、成人利用者の生活病棟としての位置付けで始まった西一病棟としては、現在の日課は維持していきたいと思えます。

十五年に渡って続けてきた午後のグループ活動の他、他の重症心身障害者施設に先駆けて行ってきた障害者基礎年金を使用し、ボランティアを導入した個別プログラムの実施。近隣のボランティアの方々に定期的に来て頂いての午前中の作業班「おしゃれ工房」・洗濯活動の定着化など、利用者の生活に注目した上で院内・院外の活動の維持・促進が求められています。

テレビを始めとするマスメディアの中で聞かれている「ノーマライゼーション」「バリアフリー」を当病棟のみならず当病院利用者全てが当たり前に入られる権利と考えて利用者が可能な限り社会参加し地域交流をしていけるように、職員一人一人が看護を踏まえた上で介護を行っていかねければと考えます。

今年度の課題と以上のことを踏まえた上で

- ① 利用者の健康の増進に努める
 - ② 日課の充実を図り、社会参加を促していく
- 二項目は欠くことの出来ない達成すべき目標となってくると思われます。

先日、昨年度最後の病棟行事として「お楽しみ会」が行われました。病棟で御家族との食事を楽しんだ後、通園棟多目的ホールに移動し、病棟スタッフのついで来て頂いた「マジスティック・ジャズ オーケストラ」による、童謡から最近の歌まで十数曲を普段とは違ったジャズの曲調で演奏していただき、最後に利用者一人一人の折り紙の雛人形が手渡され、充実した一日を御家族と共に過ごす事が出来ました。

このような行事は今年度も継続していきます。

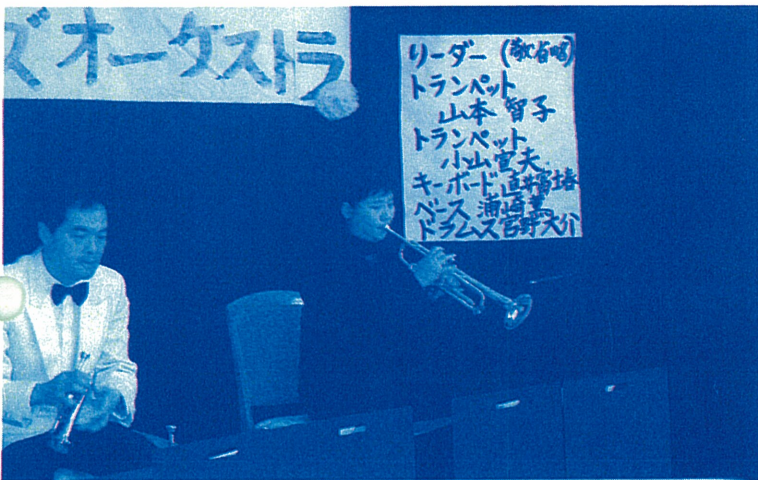
今年度の行事の先駆けとして、五・六・七月の日曜日に、病棟利用者を三グ

ループに分けた日帰り旅行を企画していきます。

成功させる為にも、病棟スタッフのみならず多くの方々の御援助をお願いいたします。

その他、年間通じて様々な行事等を利用者の生活の拡大充実を目標に計画・実施して行く予定です。

年度当初、利用者・スタッフ共々あわただしい毎日を送っている事と思えますが、利用者一人一人の生活充実のため、少しでも皆様のご尽力が頂ければ幸いです。



ペンリレー

部署紹介

「すずらん病棟の紹介」

東一病棟は肢体不自由施設と障害(児)(者)のための医療施設との機能を併わせもった病棟で通称「すずらん病棟」と呼ばれています。入院されている子ども達は将来自立を目標としている子から障害が重く医療的ケアを多く必要とする子まで様々です。自立を目指している子どもたちは日常生活に必要な基本的動作訓練をはじめ買い物などの外出、調理活動等も行なっています。一方、障害の重い子ども達には成長を促すよう、発達に合った取り組みを行なっています。子ども達の多くは様々な事情により、入院が長期化し、病棟での生活が基盤となっており、病棟から学校へ通ったりしています。

さらに、在宅で生活している障害児(者)が治療を受けたり、家庭の都合による一時的な入院も受け入れています。そうした障害児(者)に対して地域での生活が順調に続けられるよう退院へ向けて家族への支援も行なっています。

「すみれ病棟の紹介」

西二病棟は日常的に医療介護を必要としている利用者の方が多く、現在六才から五十三才まで、幼少児・学童児・学卒者・成人の方四十名が生活しています。また、緊急対応ベッド二床があり、在宅支援の一旦も担っています。病棟での生活は、朝食後に学童児の登校送りがあり、日中は青年部の活動が中心となります。今年度は、母の日プレゼント、父の日プレゼント、栽培、年賀状作り等を行ってきましたが、苦労に苦労を重ねた父の日プレゼントのジャム作りが特に印象に残っています。また、訓練士さんと共にPT・OTの取り組みも行っており、訓練を通しての共通理解と活動の拡がりに努めています。

今年に入り、悪性の風邪が流行って病棟閉鎖となってしまう時もあり大変でしたが、現在は病棟も落ち着き、普段の生活を送っています。来年度は健康の維持・増進をメインにしていきたいとみなで思っています。

利用者の方は、歌の好きな方・笑顔いっぱいの方・職員にそっと触れてくれる方等々、素敵な方ばかりです。職員も女性職員は美しい人が特に多く、男性職員はとってもユニークです。皆さんもぜひ遊びに来てくださいね。



「療育部の紹介」

東京小児療育病院・みどり愛育園の歴史の中で、病棟の療育体制は看護部と育務部で担ってきました。育務部は、指導員と保母(現保育士)で変化なくこまめに来ましたが、看護部の看護婦以外は、当初看護助手だったのが、ある時期から療育員となり、質の向上がなされ、それに伴い育務部の仕事も見直されてきました。

今年の看護体制改革による病棟体制の変更の際に、育務部と療育員を統合して新たに「療育部」を発足させ、療育体制の充実を目指すこととなりました。

今後の療育部は、今までの業務に加え、コーディネータ機能を設け、利用者を取り巻く環境をより有機的に整えていくことで、利用者の生活の質的向上を図っていきたいと考えています。さらに、療育部全体の向上も併せて行い、豊かさのある介護・介助を実現できるように努力していきたいと思えます。

① 名前・部署
採用年月日・出身地
② 趣味
③ 抱負

① 竹内真一 庶務課

H12年3月21日採用 東京都出身

② 趣味はスノーボードです。最近はその本を読もうと努力しています。

③ いつまでも初心を忘れず、今までの経験や職歴を生かし、いろいろな視点から物事を判断できるように頑張っています。

① 鈴木正子 外来 看護婦

H12年4月1日採用 秋田県出身

② 趣味は部屋の模様替えです。時々思いついてはじっています。または、ダイエットをかねて近所をうろつき回ることでです。

③ 看護婦になろうとしたときの気持ちを忘れずに、専門性を磨いていきたいと思えます。一人前と認めてもらえるよう頑張ります。

① 高橋久美子 東2病棟 看護婦

H12年6月1日採用

② 感情があまり表にでないのが、よく無表情と言われることがあります。

怒哀楽は普通を感じる人です。趣味はス

ポーツを見ることで、野球、K-1、グラブ、ボクシングなどをよく見ます。

③ 私は話すことが多いので、仕事は話かを忘れることが多いので、仕事は話さずに集中できるようにしています。利用者の方と沢山話して、楽しく笑顔がみられると嬉しいです。

体調整をきちんとして、風邪を引かないように気を付けています。宜しくお願いします。

① 伊賀伸子 西2病棟 看護婦

H12年6月12日採用 東京都出身

② 子供の頃からずっと獣医師になると決めていましたが、気付いたら看護婦になっていました。20代で子供を3人産むつもりでしたが、気付いたらドモホルンリンクルを申し込める年齢を過ぎていました。夢はセブンマイル・ブリッジを

ハレーで走る事、ですが、足が短く坂道発進で挫きました。挫折とトラブルの多い30年だったと思いますが、学習能力がないようで、打たれ弱く、要領の悪い小心者です。趣味はギターです。

③ 6月半ばより働き始め、3ヶ月経ちましたが、まだまだ仕事ができず、へこたれてばかりです。こんな私ですがどうぞ宜しくお願いします。

① 飯沼りえ 西2病棟 療育員

H12年7月1日採用 武蔵村山市

② 鯨、イルカ、シャチが大好きで、3月にはイルカと泳ぎにいって来ました。

③ これから、皆さんと楽しく、明るく、一緒に色々なことができたらいなと思っています。宜しくお願いします。

① 絹村百子 東1病棟 看護婦

H12年8月6日採用 福島県出身

② 今関心のあることは、子供たちにとって話を合わせるために、アニメのキャラクターやヒーローの名前を覚えることです。どんどん新しい番組になってしまっているので、覚えた頃に終わってしまうのが残念です。

③ 初心を忘れずに、仕事をしていきたいと思っています。

① 西村昭子 西2病棟 看護婦

H12年8月25日採用 秩父市出身

② 盆地で寒い所で栽培されたはずなのですが、現在の寒さに毎日ホカロンを使い、着衣の中はヒールハウスです。

③ 自分の人生を計画し、実践する為の苦勞や努力は、そう思わずに乗り越えられちゃうタイプです。目標を小刻みに、原点に戻って自分自身の身につける努力をしています。勿論、仕事に対しても一つずつ自分の力になるよう身につくまで

努力し身につけたパワーは、入院中の皆様や病棟、病院の皆様が発揮できるように頑張ります。これからもどうぞ宜しくお願いいたします。

① 齋木篤信 東1病棟 看護士

H12年9月1日採用 東京都出身

② 明るいことと健康には自信があります。また、以前引越越し屋をしていたこともあり、体力的には自信があります。趣味は、映画鑑賞とスポーツで、身体を動かすことが大好きです。

③ もともと子供が大好きで、小児病院を希望しました。昨年の4月より看護士になったばかりで、仕事に対する不安はありますが、子供たちと生活を通しながら、楽しみを見つけていきたいと思えます。まだまだ勉強しなければいけないことが沢山あると感じている今日この頃ですが、体力の続く限り頑張っていきたいと思えます。宜しくお願いいたします。

① 椋木裕美子 東1病棟 看護婦

H12年9月25日採用 名古屋市出身

② 趣味は物語を書くこと

③ 身体障害、肢体不自由は初めてのことで、自分の看護を早く見つけられるよう勉強していきたい。

① 椋木裕美子 東1病棟 看護婦

H12年9月25日採用 名古屋市出身

② 趣味は物語を書くこと

③ 身体障害、肢体不自由は初めてのことで、自分の看護を早く見つけられるよう勉強していきたい。

① 樋代景子 西1病棟 臨・看護婦

H12年11月10日採用 東京都出身

② 以前は海に潜りにいたり、旅行やミュージカル、映画、歌舞伎を見たりしていました。時間に追われていた事と予防医学に関心があったので、企業に移ったら倒産し、その後は育児に追われすっかり御無沙汰しています。今は近くのお店にお花を生けさせてもらったり、お茶を立てたりなどしてストレスを解消しています。

③ やっと子供の生活も安定してきたように思いましたが、働かせておくことになりましたが、その途端に不安定な生活に戻ってしまい、月10日の仕事にすっかりバテています。8年ぶりの病棟なと、以前の職場との違いに戸惑っています。長く続けられるように頑張りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。

① 久世聡子 西2病棟 看護婦

H13年1月1日採用 茨城県出身

③ こちらに来る前は茨城県の特別養護老人ホームで働いておりました。以前から障害児施設で働きたいと思っておりましたが、今回こちらで働くことができてとても嬉しく思っております。私の妹も重度の障害を持っており、妹との生活の中で、看護という仕事がしたいと思うよ

うになったため、こちらの病院で障害を持つ方々と一緒に生活をしながら、看護を勉強できることを嬉しく思っています。精一杯頑張りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

① 福丸健治 給食 調理員

H13年2月1日採用 東京都出身

② ドライブが好きで、よく日帰りで温泉に出かけます。冬はスキーに出かけます。1年に2、3度レーシングカートに乗りにいきます。

③ こちらに来る前は、東大和療育センターにいました。ここにきて一番驚いたのは注入の多さです。イルリガートルにも初めて接しました。

覚えることが沢山あり、毎日てんてこまいです。丁寧な仕事を心がけたいと思います。

① 末永恵美 西1病棟 看護婦

H13年3月5日採用 神奈川県出身

② 趣味は、テニス、旅行

③ このような施設で働くのは、初めてであり戸惑いもありますが、頑張りたいと思います。利用者の方、スタッフの方の名前を覚え、早く仕事に慣れるよう努力していきますので、皆様よろしくお願いたします。

(順採用順)

投 稿

リハビリを通して感じる事

亀井 賢太郎

2年前前から、東京小児療育病院でリハビリをやってもらっています。お陰で僕としては、効果が出てきていると思っています。以前は胸が苦しくて、寝る時もあり眠れなかったし、絶対に上向きで眠れませんでした。でも今では、胸の苦しさも少しずつ取れてきているし、よく眠られるようになってきました。一番良かった事は、上向きでも寝られるようになった事です。

僕が子どもの頃というところ、今から40数年前ですが、このようなリハビリとか訓練をしてくれる所は、なかったのではないのでしょうか。もしあったとしても、どこにあるかも知りませんでした。市役所に行くと相談しても、教えてくれませんでした。養護学校の事だと言ってくれませんでした。今さらこういう事を言っても、仕方ない事ですけれど……




自分では、子どもの頃から訓練をしたり、人の手を借りないで自分一人で歩けるのでは思っていました。というのは、子どもの頃はもっとしっかり歩けていたし(介助付き)、立ち上がるのめんどか一人で出来ていました。でも一度だけ立ち上がる時に、転んでしまい親に怒られて、危ないから止めなさいと言われました。それから仕方なく止めました。でも僕の小さい頃の夢だったのは、どういう格好でもいいから一人で歩けたら、好

きな所だっけ行けるし、どんなに良いだろうなと思っていました。

東京小児に通わせてもらうようになって感じていた事は、さまざまな障害を持った子どもたちも大勢通ってきています。その子どもたちのリハビリや訓練を見ていると、少しずつ改善されているのが、僕の目でも分かるくらいです。どうして現在でも、障害を持った子どもが、生まれてくるのでしょうか。僕が生まれた時代だったら、食糧不足とか医学だっけ今みたいに発達していなかったからでしょうが……。それにしても子どもってかわいいな、いつも見ては思っています。もし生まれ変わるものだったら、今の時代に生まれてきたかったです。そして、今の子どもたちのように訓練をしても良かったら、歩けるようになったかも知れないなあ。



平成 1 3 年度行事予定表

月	行 事 名	月	行 事 名
4 月	花見 入園式 遠足 	10 月	ピクニック 遠足 運動会
5 月	こどもの日祭り ピクニック 遠足 交流会	11 月	遠足 七五三 バザー
6 月	遠足 菖蒲見 施設交流会	12 月	忘年会 クリスマス会 餅つき オルフェの会 
7 月	遠足 プール 七夕 夏祭 合宿 	1 月	新年会 成人式 餅つき大会
8 月	夏祭り 納涼会 花火大会	2 月	節分 お楽しみ会
9 月	みどり祭り	3 月	お楽しみ会 卒園・終了式

4 月 26日	遠 足	通 園	7 月 4日	七夕祭り	通 園
5 月 2日	子供の日祭り	通 園	7 月 7日	" "	西一病棟
5 月 10日	遠 足	"	7 月 "	" "	西二病棟
5 月 12日	遠 足	東一病棟	7 月 14日	遠 足	東一病棟
5 月 16日	ピクニック	通 園	7 月 15日	日帰り旅行	西一病棟
5 月 20日	日帰り旅行	西一病棟	7 月 22日	夏祭り	"
5 月 24日	交流会	通 園	7 月 "	" "	通 園
6 月 14日	菖蒲見	西二病棟	7 月 26日	合 宿	通 園
6 月 17日	日帰り旅行	西一病棟	7 月 27日	" "	"
6 月 21日	交流会	通 園	8 月 1日	夏祭り	通 園
6 月 23日	遠 足	東一病棟	8 月 3日	" "	東一病棟
			8 月 15日	納涼会	西一病棟
			8 月 24日	花火大会	西一・西東
			8 月 "	" "	東一・東

編集後記
 創刊号の為、不備等ありま
 たら、次回につなげる為にも、
 ご指摘下さい。

はぐくむ 編集委員会

編集委員長 鈴木 康之
 院長 鈴木 康之
 編集委員
 理事長 倉島 攝子
 理事 五島 瑳智子
 理事 小川 昭子
 後援会 本田 由利
 C W 相馬 潔
 庶務 頼原 満里子
 竹内 真一
 在宅支援部
 松尾 里糸
 療育部 小谷 義弘
 訓練 渡辺 裕一
 通園 渡辺 明彦
 病棟 小山田 救人
 西一 宮本 弘子
 東一 卯奈根口 美保子
 西二 森永 理
 東二



社会福祉法人 鶴風会
後援会 だより

新世紀を迎えて

社会福祉法人 鶴風会

後援会会長 桑原 章吾

鶴風会後援会の皆様は二十一世紀の年頭を迎え、新たな意欲を感じつつ毎日の健全な生活に精進しておられること存じます。

二十世紀は人類(あるいは生物全体)にとって政治、経済、日常生活のすべて面が今まで経験したことのない大きな変革がありました。医学領域でも、いろいろな見方はありますが、最も大きな変革は生物細胞DNAの構造解析が著しく進展し、遺伝因子の分析がかなりの程度まで進んだことに在ると思えます。

しかし、このような自然科学的知見の進歩はそれ自体大きく評価できるとしても、人類の疾患群のどれだけがすぐ消滅するというような早合点をするには厳しく戒めなければなりません。日本人についてみても、平均寿命はかなり延長したものの、逆に老化、免疫力低下等の要因による疾患群は当然著しく増加し、二十世紀に長足の進歩を示した抗微生物薬の利用、感染症発症機作の解析の進歩にもかかわらず、老人の肺炎が極めて危

険な病気の一つになるなど、今までとは異なる面の多くの難問が生じています。

東京小児療育病院の肢体不自由者療育についても、病院関係者各位の地味な努力の積み重ねによって、設立当初に比べれば治療、介護の両面で著しい発展を示し、当然現代医学としては最高の水準に在ると思えますが、それでも障害の基に立入った治療を試みることは容易ではありません。それだけに患者さん方の治療成果は、現場の病院関係者各位の日夜休むことのない最大限の努力の継続によって支えられていることを忘れないで下さい。現場の病院の方々の努力は二十世紀になっても何の変化もありません。後援会としては病院の皆様の変らぬ誠意と努力がより高い成果をあげるよう可能な最大限の後援を続けて行きますよう。今年もよろしくお願いいたします。

編集部からのおしらせ

社会福祉法人 鶴風会

評議員 小川 昭子

今年も寒冬でしたが、やっと少し春らしくなってきました。後援会の皆様は御元気で過ごしたことと存じます。

この度後援会ニュースは、諸般の事情に

より第四十四号をもって、発展的絶版の運びとなりました。長い間御愛読頂き本当に有難うございました。後援会ニュースは、東京小児療育病院、みどり愛育園と、会員の皆様との交流の場として誠に大切な存在でした。二〇〇一年を機に、病院の新聞「鶴風」と、後援会ニュースの合併号「はぐくむ」として発刊することになりました。鶴風の後部に、「後援会だより」として今迄と全く変りなく、病院の編集の方々の御協力を頂き乍ら、広報活動をつづけ、会員の皆様との絆を益々深めて行きたいと希望しております。今後とも何卒御協力頂きたく心からお願ひ申し上げます。

第2回 オルフェの会への御案内

日時 平成13年12月9日(日)
11時30分より(受付11時)
ところ 東京全日空ホテル B1宴会場

二〇〇〇年十二月八日
オルフェの会(第一回)

社会福祉法人 鶴風会
常務理事 五島 透智子

後援会主催のオルフェの会(第一回)が全日空ホテルで開催されました。会の名前のように、音楽をテーマとした後援会の懇談の場としたチャリティパーティーで、約三〇〇名の方々が参加して下さいました。プログラムのように、オペラ、オペレッタの中から二期会のソプラノ、テノール、バリトンの方々によるアリア、デュエット、夕食のあとアコーディオンとヴォーカルの演奏が会場を回り、オペラ、オペレッタの夕べが開催されました。

今年初めての試みでしたが、ご参加の皆様から来年も是非とのご要望がありましたので、同じ会場を二〇〇一年十二月九日(日)正午からの時間を予約いたしました。次号でご案内する予定をしております。

オルフェの会コンサートプログラム

- 1 セヴィリアの理髪師より
〈私は街の何でも屋〉 ロッシーニ
 - 2 トスカより〈星は光りぬ〉 プッチーニ
 - 3 ジャンニ・スキッキより
〈私のお父さん〉 プッチーニ
- ◎ 歌劇「椿姫」ハイライト ヴェルディ
- * 乾杯の歌
 - * ああ、そは彼の人か〜花から花へ
 - * プロバンスの海と陸
- ◎ 喜歌劇「こうもり」
- ハイライト ヨハン・シュトラウス
 - * 開幕の合唱 * ついて来たまえ
 - * 侯爵様
- ♪♪♪♪♪♪♪♪
メリーウイダーより〈愛のワルツ〉レハール

鶴風会後援会(寄付者)芳名

平成十二年八月(平成十三年一月延三九七名(五十音順・敬称略))

- 安西 美代、相沢ミツエ、青木 悦、赤羽 久子、天沼 恭子、足高 毅、朝山 浩行、荒木美枝子、青木千代子、秋葉 敏子、朝山 裕、安西借二郎、相見 豊子、有馬千恵子、阿部 京子、青木りう子、相沢 洪志、相沢 公子、足立茂代子、浅川 恭行、秋元泰保子、阿部 雅章、秋元 久治、朝川 孝幸、青木エミコ、安藤外科内科クリニク、赤沢医院職員、天野多賀子、井上 照子、井上瑞穂、五十嵐いづ子、石北 寿子、石田 文枝、井上 裕子、石原 純、今西 昶子、五木 玲子、井上 種子、石田 秀子、伊藤 薫子、坂谷越イチ、石川 至、石橋 幸夫、今井まつ江、池田喜久子、今村貴美子、井上 礼子、伊藤ヒサ、今田眼科医院、石原 良子、伊藤 文子、飯国紀一郎、飯国 弥生、一林 繁、市川 玉実、石川シズコ、今井 幸子、白井 重三、内ヶ崎仁子、牛見 洋子、牛込莊一郎、梅原 公江、梅田 寛子、上田 明美、梅田 正法、上野あつ子、梅田 嘉明、植木 雅子、宇田川玲子、上園 春仁、上園 春海、上田 由紀、宇野 拓、宇野久仁子、上野 洋子、江口 環、江川 惠基、及川 貞、岡崎 精子、小田 けい、太田 文江、大脇 照枝、大熊 進、奥田 清子、大木 英子、大関 忍、岡村シマ子、大島 誠行、小原 該一、岡田さと子、奥山 綏夫、大谷 宏明、奥住 一雄、大橋 和明、大木俊一郎、岡本 康介、小原 明、岡山 哲廣、荻原 泰、岡田 研吉、大友 伸子、大久保 泰、大竹 均、大山 みつ、大野 隆子、加藤無名子、釜泡登志子、勝田三枝子

- 河合 典子、川南 サチ、鎌田 直子、鎌田 昭次、金子 晴生、亀岡 智子、金森 勝士、金親 正敏、川原 裕一、柿添 環子、柏崎 操、加藤 葉子、片岡 信代、門屋 敦子、葛西まゆみ、川野 報子、加藤 喜久、川上 武子、鹿島田忠史、川関 玲子、川井 仁、松原 宏久、加藤喜美子、木村甲子郎、岸 芳正、北村 清明、美 富三、菊池 洋子、藏並 きん、倉根 理一、黒田 節子、久保田くら、桑村 茂宜、栗野 道子、久保 修一、久保 初美、桑原 耕三、黒田 光保、黒沢 忠彦、月花 亮、見目 明令、京浜クリニク、小林 義郎、古賀 和子、後藤千恵子、小林 秀子、呉 政子、河野 静代、小屋 二六、小出 誠、神津 康雄、今野 信子、近藤 弘子、幸松 晃正、後藤 敏、佐藤 つや、斉藤イサヲ、斉藤 英子、佐藤タミエ、佐藤 香、斉藤 達子、桜井 利子、桜井 様子、先山 隆司、佐藤 俊郎、佐藤 芳子、斉藤 賤香、佐藤 重雄、佐々木風郎、斉藤 康子、佐藤 忍、斉藤 伸行、正田二寿子、島 和、東海林幸子、白浜 光子、嶋田 寛子、柴田仁太郎、白木善四郎、設楽 誠、志鳥眞理子、渋谷 朝子、篠崎 松江、上司 フジ、島峰 元子、白井 貞子、清水五百子、柴 昌徳、志村医院、新貝 保子、繁田裕美子、杉本 とし、杉山 卓哉、杉山 尚子、鈴木 秀明、炭山 嘉伸、鈴木 茂、瀬戸富喜代、関 静、関野 佳久、関 桂子、副島 靖雄、高橋 和子、高桑 幹雄、田郷 寿正、竹下 こと、多田 正子、多比良 勉、竹中 美智、田宮三鶴代、高槻 義夫、高月 正宏、高橋 龍子、武居 正郎、高橋医院、高橋 清子、竹下 文雄

- 竹下 寿子、高尾ツタミ、田中 園子、田沼 博、武田 徹、竹沢 修一、店網 淳子、多田 久人、谷 絹子、高倉 節子、田中 明美、田原 久子、田中 宗史、竹中希久夫、田部 秀山、高橋 能子、田代 綾子、田辺 武田みつ子、高見台クリニク、高村 安子、武田薬品、千葉 正子、千秋キヨ子、千輪 絹子、中央興医会、塚本 佳子、鶴岡 康子、月本 一郎、月本 伸子、辻本 公子、壺坂比路里、塚越 実、天明 佳臣、豊田 道子、徳重 隆幸、富沢千代子、豊島 久子、戸塚 静枝、富岡 俊也、徳富 京子、栃久保哲男、土地 昭三、中野 敏江、中村富美代、長野 文子、直井喜美子、成毛 典子、中平 貴子、中村 豊、中島 桂子、中島 京子、中村志津子、永沢 康滋、長岡 貞雄、中里恵美子、中山 寿子、並木 温、中村 健一、中山 公、中村 美子、西村 一男、中村 脩、夏目 亨、西平 守夫、西井 華子、丹羽 修、西沢 憲子、新野 稔、野沢 明子、野村 直子、畑 靖子、原田 孝、林 治代子、林 栄子、早原 千鶴、林 秀子、坂堂美都子、原田千鶴子、蜂矢 朗彦、原田 裕子、原田 則雄、林 佳子、端田 泰三、林 京子、服部 睦子、日根野妙子、平沢 幸子、東出 祥子、弘瀬 富美、日上 和子、平嶋 信子、平田 徹、平賀千恵子、福田 静子、藤川 則子、藤岡美津子、藤野 隆子、藤田 寛子、福神 藤野 隆子、堀川 一博、丸山 和子、堀野 アツ、松本 知子、丸山 和子、牧野 アツ、松本 知子、黛 莉香、丸茂みや子、馬嶋 順子、松岡 昌子、前田 澄子、益子 智子、宮崎医院、三浦 真一、宮本 みち

- 宮崎 信、三木 英子、宮川美智子、水野 惇子、三宅 三、水野 孝子、村上リョウ、向山 秀樹、向山 和代、村井 昌允、本明 寛、森田 和子、守屋 孝子、森 勉、森 絃子、森川 房子、森 靖子、森澤 豊、森 紫珠子、森川 藤鳳、山門 誠、山縣 穎子、山出 孝子、山口 銀子、山田三枝子、山住美津子、屋代 英也、柳沢 信子、矢高レイ子、矢野 春雄、山中 さだ、柳田 謙蔵、山本みどり、山崎 義郎、山井 孝子、山中みよ子、安土 達夫、保田うた子、山下 香澄、八尾 夕美、山田 俊子、幸田 文一、湯川 玲子、由布 水城、吉見 梓、米沢 和彦、米城 ちか、横手 方、横山 隆子、依田 桂子、吉田 友英、渡辺 和子、渡辺古都江、渡辺 喜代、和田 俊洋、若月 澄子、匿名、朝日管財㈱・永世病院・オルフェの会、健康を守る婦人会(東京)、埼玉女子短大・施設後援会、セントラル病院・都立武蔵村山高校、中野区医師会(ゆうゆう倶楽部)、日本女医会(東京都支部)、バザール実行委員会父母後援会、ホケンの会・宮寿会、青木 継念、板橋 紀夫、岩本 敦子、岩本 靖雄、鶴川美登里、白井 潔子、海老原健介、江田俊茂治、大場 吉延、小川 和榮、左羽 俊男、白木善四郎、清宮 祥子、鈴木 善宜、須藤 寧子、二宮 文乃、野垣 正子、野見山捷子、長谷川敬恭、柳 恵子、吉永 次郎

社会福祉法人鶴風会へ御寄附
ご芳名(法人・団体・個人)
平成十二年八月(平成十三年一月
六十三名(五十音順・敬称略))

☆御寄附振込方法☆
“はぐくむ”と合わせて郵便局の振込用紙のみを同封致しておりますが、銀行の方が御便利の方は下記へお願い致します。
○東京三菱銀行中野支店(店番151)
○普通預金
○口座番号 4107235
○口座名 社会福祉法人 鶴風会後援会

東京小児療育病院
みどり愛育園へ(寄附者)芳名
平成十二年八月(平成十三年一月
十九名(五十音順・敬称略))

- 秋本 高弘、安部 浩一、阿部美代子、飯田 順一、石田 勇、伊藤 雅子、海老原健介、大串 保雄、大場 幸延、奥井雄一郎、亀井 博之、川村美知子、神田 功一、菊地 豊、菊地 由美、小嶋 伸江、斉藤 雅彦、関根 智子、白石由美子、鈴木 美帆、関根 雅弘、高浜 明彦、竹中 幸宏、中里由理枝、馬場 文彦、原 俊介、面田佳奈恵、山下 順子、山田沙代子